

15:52 受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20551報)

2019年12月2日15時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>12月3日から12月5日にかけて、原子炉格納容器内窒素封入設備である非常用窒素ガス分離装置(通常は待機状態)の点検を実施します。</p> <p>非常用窒素ガス分離装置の点検期間中は、動作不能となるため、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という。)第1編第25条で定めている運転上の制限※「窒素ガス分離装置1台が専用ディーゼル発電機により動作可能であること」が満足出来ない状態となることから、実施計画第1編第32条第1項(保安作業を実施する場合)を適用し、計画的に運転上の制限外に移行し、点検を実施します。</p> <p>なお、点検期間中においては、毎日の点検作業終了時に非常用窒素ガス分離装置を動作可能な状態に復旧する等の安全措置を定め、たうえで点検を実施します。</p> <p>※実施計画第1編第25条 窒素ガス封入設備の運転上の制限 「窒素ガス分離装置1台が運転中であること及び他の窒素ガス分離装置1台が専用ディーゼル発電機により動作可能であること」</p> <p>【公表区分：E】</p> <p>※添付の有・<input checked="" type="radio"/>無</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

15:52 受

1/5

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20552報)

2019年12月2日15時50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<p>・プラント関連パラメータ [12月2日11時00分現在]</p> <p>・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 12月1日]</p> <p>・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 12月1日]</p> <p>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 12月1日]</p> <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/5

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年12月2日 11:00現在

【留意事項】
各計測器については、地震やその他の異常事態の影響を受けて、通常の運用状態を越えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状態を把握するために、このような計測器の不確かさも考慮したうえで、当該計測器が与えられる情報を活用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (12/2 11:00 現在)	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (12/2 11:00 現在)	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (12/2 11:00 現在)	
原子炉圧力容器底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 210 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 208 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 208 °C (12/2 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 26.1 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 24.6 °C (12/2 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 25.4 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 24.2 °C (12/2 11:00 現在)	
原子炉格納容器内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 21.1 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 20.8 °C (12/2 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 26.7 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 26.1 °C (12/2 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 26.0 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 23.7 °C (12/2 11:00 現在)	
原子炉格納容器圧力	0.30 kPa g (12/2 11:00 現在)	3.70 kPa g (12/2 11:00 現在)	0.42 kPa g (12/2 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): 15.96 Nm ³ /h (RVH-B): - Nm ³ /h (JP-A): 14.37 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (12/2 11:00 現在)	RPV-A: 13.67 Nm ³ /h RPV-B: - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (12/2 11:00 現在)	RPV-A: 16.68 Nm ³ /h RPV-B: - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (12/2 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器ガス管理システム排気流量	27.3 m ³ /h (12/2 11:00 現在)	16.96 Nm ³ /h (12/2 11:00 現在)	17.66 Nm ³ /h (12/2 11:00 現在)	
原子炉格納容器水系濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (12/2 11:00 現在)	A系: 0.04 vol% B系: 0.01 vol% (12/2 11:00 現在)	A系: 0.07 vol% B系: 0.05 vol% (12/2 11:00 現在)	
原子炉格納容器放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 9.20E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 4.00E-04 B系: 指示値 1.23E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 3.20E-04 (12/2 11:00 現在)	A系: 指示値 - Ba/cm ³ 検出限界値 ND B系: 指示値 1.4E-01 Ba/cm ³ 検出限界値 1.4E-01 (12/2 11:00 現在)	A系: 指示値 - Ba/cm ³ 検出限界値 ND B系: 指示値 2.2E-01 Ba/cm ³ 検出限界値 2.2E-01 (12/2 11:00 現在)	※6
使用済燃料プール水温度	23.1 °C (12/2 11:00 現在)	23.8 °C (12/2 11:00 現在)	22.5 °C (12/2 11:00 現在)	※5 (12/2 11:00 現在)
FPC 排水タンク水位	4.22 m (12/2 11:00 現在)	2.84 m (12/2 11:00 現在)	3.32 m (12/2 11:00 現在)	34.9 X100mm (12/2 11:00 現在)

【計測器に関する情報】
※1: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水系濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
※2: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。
※3: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。
※4: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。
※5: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。
※6: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。

※4: 窒素封入停止中
※5: 4号機使用済燃料プール冷却系一次系ポンプ停止使用中。
※6: 作業に伴い1ヶ月欠測

3/5

2019年12月2日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with 14 columns (date) and 14 rows (measurement points 1-14) for I-131 concentration. Values are mostly ND (Not Detected) with some numerical values in parentheses.

Cs-134 (Bq/L)

Table with 14 columns (date) and 14 rows (measurement points 1-14) for Cs-134 concentration. Values are mostly ND (Not Detected) with some numerical values in parentheses.

Cs-137 (Bq/L)

Table with 14 columns (date) and 14 rows (measurement points 1-14) for Cs-137 concentration. Values are mostly ND (Not Detected) with some numerical values in parentheses.

- <測定箇所>
①4号T/B建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤韓国作業物減容処理建屋南
⑥サイトバンカ建屋南西
⑦焼却作業物減容処理建屋南
⑧韓国作業物減容処理建屋北
⑨サイトバンカ建屋南東

※I-131はサンプリング測定を実施していないことを示す。
※⑥は②が採取不可となったため、地下水流の上流側として選定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/26~)
※⑧を追加で測定(2011/5/30~)
※⑨を追加で測定(2011/8/2~)
※NDは検出限界未満を示し、() 内に検出限界値を示す。

4/5

2019年12月2日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路			物揚場排水路		
	11月29日	11月30日	12月1日	11月29日	11月30日	12月1日
採取日	7:25	7:30	8:05	7:30	7:35	8:10
採取時刻	0	0	0	0	0	0
降雨量 (mm/日)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
流量 (m ³ /秒)	ND(0.61)	ND(0.56)	ND(0.61)	ND(0.48)	ND(0.57)	ND(0.80)
Cs-134 (約2年)	5.5	6.2	6.7	1.3	2.0	2.0
Cs-137 (約30年)	14	11	12	3.4	3.8	3.8
全β	-	-	-	-	-	-
H-3 (約12年)	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

	K排水路			BC排水路		
	11月29日	11月30日	12月1日	11月29日	11月30日	12月1日
採取日	6:00	6:00	6:00	7:00	6:00	6:00
採取時刻	0	0	0	0	0	0
降雨量 (mm/日)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
流量 (m ³ /秒)	ND(0.86)	ND(0.61)	ND(0.75)	ND(0.59)	ND(0.88)	ND(0.57)
Cs-134 (約2年)	8.4	7.3	7.2	ND(0.71)	ND(0.76)	ND(0.73)
Cs-137 (約30年)	9.2	14	9.5	ND(3.1)	ND(2.8)	ND(2.9)
全β	-	-	-	-	-	-
H-3 (約12年)	-	-	-	-	-	-

* 太枠内が今回公表データ。他は12月1日までに知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

5/5

2019年12月2日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一 5.6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東部除塩北側)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	採取時刻	12月1日 8:30	12月1日 8:20	12月1日 8:00	12月1日 7:40	12月1日 7:45	12月1日 7:20	12月1日 7:08	12月1日 7:06		
Cs-134 (約2年)		ND(0.67)	ND(0.60)	ND(0.54)	ND(0.51)	0.41	ND(0.76)	ND(0.57)	ND(0.31)	60	10
Cs-137 (約30年)		ND(0.59)	ND(0.55)	ND(0.53)	1.5	4.9	ND(0.63)	0.48	0.46	90	10
全β		-	ND(13)	ND(13)	ND(13)	13	10	ND(12)	ND(14)	60,000	10,000
H-3 (約12年)		-	-	-	-	-	-	-	-	30	10
Sr-90 (約29年)		-	-	-	-	-	-	-	-		

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	採取時刻	12月1日 7:02	12月1日 7:00	12月1日 7:10	12月1日 7:04	12月1日	12月1日	12月1日	12月1日	12月1日		
Cs-134 (約2年)		ND(0.29)	ND(0.26)	ND(0.29)	ND(0.29)						60	10
Cs-137 (約30年)		0.36	ND(0.30)	0.29	ND(0.54)						90	10
全β		ND(14)	ND(14)	16	ND(12)						60,000	10,000
H-3 (約12年)		-	-	-	-						30	10
Sr-90 (約29年)		-	-	-	-							

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* 物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

15:52 受

様式9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20553報)

2019年12月2日15時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>第20548報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクFに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時22分 ・排水終了 : 14時41分 ・排水量 : 645m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。